

二木英徳
惚ふ



現場第一主義を追求	1936年	12月23日	0歳	兵庫県姫路市に生誕
	1960年		24歳	東京大学経済学部 卒業 フタギ株式会社 入社
	1969年		33歳	岡田屋・フタギ・シロ 3社共同出資で本部機構ジャスコ株式会社設立
	1970年		34歳	ジャスコ株式会社設立
	1974年		38歳	姫路商工会議所 議員就任、2001年 顧問就任
	1984年		48歳	ジャスコ株式会社 代表取締役社長就任 自ら委員長となり「営業効率化推進委員会」を発足 現場の活性化を推進する新たな顕彰制度「現場の英雄」 育成キャンペーンを開始 女性従業員の再雇用制度「リ・エントリー制度」を発足
国際化と 新業態開発を 推進	1985年		49歳	営業効率化運動の一端をなす「課題提案キャンペーン」を推進、 QC（品質管理）サークル活動の浸透を図る
	1986年		50歳	ジャスコストアーズ（香港）取締役就任
	1988年		52歳	ジャスコ新体操クラブを設立
	1989年		53歳	グループの名称をジャスコグループからイオングループに改称、 「イオンの基本理念」を制定 「21世紀グループビジョン」を策定
	1990年		54歳	イオン環境財団 理事就任
	1991年		55歳	ディスカウントストアの新業態「メガマート」の開発に着手
	1993年		57歳	大型スーパーの新業態「SSM（スーパー・スーパーマーケット）」の 開発プラン策定、翌年に「マックスバリュ」1号店をオープン 全日本新体操クラブ連盟設立（現 公益社団法人日本新体操連盟）初代会長就任 The Talbots, Inc. 取締役就任 通商産業大臣表彰（消費者志向優良企業表彰） 内閣総理大臣表彰（貿易個人表彰）
	1994年		58歳	価格訴求型ブランド「TOPVALU（トップバリュ）」を発売 第1回世界新体操クラブ選手権（イオンカップ）を開催
	1995年		59歳	藍綬褒章 受章（産業振興功績） 日本チェーンストア協会 会長就任
	1996年		60歳	ウエルマート株式会社 代表取締役会長就任 ジャスコ株式会社 取締役副会長就任 株式会社コックス 代表取締役会長就任 株式会社ブルーグラス 取締役会長就任
	2000年		64歳	ジャスコ株式会社 取締役相談役就任
日本体操界の 発展に 心血を注いで	2001年		65歳	財団法人日本体操協会（現 公益財団法人）会長就任、2021年名誉会長就任
	2002年		66歳	第1回全日本新体操クラブ団体選手権を開催
	2003年		67歳	イオン株式会社 名誉相談役就任
	2010年		74歳	国際体操連盟 評議員就任、2012年名誉役員就任
	2012年		76歳	国際体操連盟第1回功労賞 受賞
	2013年		77歳	国際体操殿堂入り
	2022年		86歳	旭日重光章 受章（産業振興功労 スポーツ振興功績） 永眠 従四位を授かる

「お客さま」を原点に、流通と生活文化の向上に邁進

■現場第一主義を追求（1936～1985）

家業のフタギから商業の道へ

英徳は戦後、姫路の商店街に洋品店として創業したスーパー「フタギ」の創業者である二木一（ジャスコ初代会長）と母かつみの次男として誕生。東京大学経済学部を卒業後、1960年フタギ入社。英徳は、家業的商店のフタギを近代化・合理化により、企業として大規模化できると確信。チェーンストア黎明期の流れをいち早く読み取っていた。



チェーンストア化 1号店を兵庫県加古川市に開店



1984年新体制 左から二木英徳社長、岡田卓也会長、林信太郎副会長

企業規模を拡大 ジャスコの発展に寄与

1970年に岡田屋、フタギ、シロの3社合併によりジャスコ株式会社設立。英徳は取締役就任に就き、以後経営企画、店舗開発、営業など幅広い分野で要職を歴任。父一が提唱した「心と心の合併」を継ぎ、連邦制経営という経営形態を取りながらチェーン網を拡大。1984年、ジャスコ(株)代表取締役社長に就任し、ジャスコの飛躍的な成長に貢献した。



1年間で300名の優秀者を顕彰

成果はすべて 現場から生まれる

英徳は「とにかく現場回りを大事にする」ことを心に誓ったという。「自ら考え、自ら実行」を掲げ、従業員顕彰制度「現場の英雄」育成キャンペーンにより従業員の力を掘り起こし、お客さまのための店づくりを実践した。

■国際化と新業態開発を推進（1986～2000）

国際化、多角化に尽力

英徳は、ジャスコ設立当初より経営の中心にあった事業多角化の道を探り、活発な新会社設立に取り組んだ。またグローバルな視野を持ち国際感覚に優れた英徳は、初の海外出店をマレーシアで実現するとグループの国際化を積極的に展開。英徳の挑戦は今日のイオングループ戦略の一つである「アジアシフト」の礎となり、現在も拡大を続けている。

1995年 藍綬褒章を受章。貿易振興への貢献、社業を通じた衣料品分野の産業振興への貢献が評価された



故郷の先輩として、頼りになる方でした

フタギさんは姫路から事業を起こされ、姫路の戦災からの復興に商業面から頑張られた企業です。私が子供の頃、フタギさんの前を通るのが楽しみでした。フタギさんといえば、姫路の戦後復興の象徴ですし、人々の生活の充実に貢献されたと思います。二木英徳さんは、実は私の高校の先輩でもあります。市長になって初めてお会いした時には大企業の経営者であられたので緊張しましたが、優しい先輩という感じで非常に嬉しく思ったことを覚えています。年1回東京で行われる『ふるさと懇話会』では、各界で活躍する方々を紹介していただきました。懇親会では私の所にずっと来て、「どうや姫路は？」といつも気かけ、産業局長をはじめ市の職員が相談に何うと真摯に対応してくださいました。私が市長になって一番力を注いだのは駅前再開発です。姫路には世界遺産姫路城がありますので、駅から姫路城を見通せるようにして観光業に力を入れたいと。人通りを増やして賑わいを作るには駅前の商業化が必要ですから、二木さんに助言をいただきました。まさに姫路の相談役でした。先輩、本当にありがとうございました。

元姫路市長
石見 利勝 さま



今も榮海さんと二人で楽しまれていると思います

奥さまの榮海さんと文化服装学院時代から親しかった私は、英徳さんと家族ぐるみのお付き合いでした。私も榮海さんも、英徳さんを「パパ」って呼んで何でも相談していました。実は、英徳さんが引っ越された最後のアパートメントがあまりに素敵で、私もその下の階へすぐに引っ越したんです。榮海さんが亡くなってお一人でしたから、「今日は御飯作ったんだけど、パパ食べる？」って言ったら「ありがたいね」としょっちゅう私の家で一緒に食べて。本当の家族のように生活していたように思います。英徳さんは体操協会の会長でしたので、「パパの役に立つんだったら、私は何でもやるわよ」という思いで世界体操のユニフォームとメダルのデザインに携わりました。「ヒロコさんにやってもらったらきつとうまくいく」と、とても期待してくださいました。その後、日本体操界は世界的な記録を次々に作り、その一環としてユニフォームの存在が非常に大きかったと選手から聞いて、とても光栄でした。英徳さんは新しい時代を築いてきた人ですが、そこには彼の人間性の素晴らしいさというものが、歴然とあると思います。今ごろは、榮海さんと何か新しいことを二人でまた築こうとしているんじゃないかなって思っています。

ファッションデザイナー
コシノヒロコ さま



厳しく、そして情に厚い方でした

二木さんとは、私が労働組合の専従になった1973年から、かれこれ50年のお付き合いです。特に信頼を深めたのは労働組合の時です。労働組合は交渉事なので当時の人事担当の方とは激しい言葉でぶつかる。会議中に椅子を蹴飛ばして外へ出るとかですね(笑)。そうすると一番最初に追いかけてきて、「川戸君あんまり興奮しない方がいいで」というような形でフォローしていただいたのは、実は二木さんです。とても厳しい方でしたが、仕事を離れると非常に対等でお互いにフランクに話ができる。これがやっぱり二木さんらしいと思います。体操協会では選手ファーストを実践されたそうですが、企業も協会も関係なく、二木さんの人間性そのものに通じる姿勢だったんじゃないでしょうか。コロナ禍で中々お見舞いに行けませんでした。病室で最近の私の写真をご覧になり、「ええ顔しとる」と仰ったそうです。褒められた記憶はなかったですが、最大の誉め言葉だと感じます。息を引き取られる時に娘の英実さんから電話をもらって面会が叶いました。最後の最後、「川戸さん来たよ」って二木さんへ言葉をかけてもらい、本当に有り難いことだと思います。二木さん、お疲れさまでございました。

1966年岡田屋入社
川戸 義晴 さま



目指すべき素晴らしいリーダーでした

私は入社以来、ジーフット(靴専門店事業)の会長時代まで40年近くご指導いただきました。二木さんは朝から晩まで店を回って数字と現場の両方を徹底的にみる。こちらが課題のある売場をうまく避けようとしても、「できてないところは匂うんや」と必ずチェックされる(笑)。現場で足元を固めながら、一方で大きなビジョンに向かうことが、多角化成功の秘訣だったと思います。今でも頭に残っているのは、『自ら考え、自ら実行』のスローガン。「みんな主体的に仕事をやろうよ」と。そこで現場の英雄が生まれ、成功事例を早く拡げて会社の成果につなげる。そういうマネジメントをやられたんだと思います。人生で一番長い時間を費やす仕事の時間は、人生にとって大切です。二木さんのお陰で非常に楽しく仕事ができ、とても感謝しています。一番の思い出と言えば、二次会の最後に歌われる『勇者たち』の歌詞が、いつも頭に浮かびます。「戦いを捨てるなよ 最後に勝つ者になろうじゃないか 生命がある 勇気がある 夢がある そして、お前には俺がいる」部下を鼓舞して、最後は自分が責任を取る。我々が目指すべき素晴らしいリーダーであられたと思います。長い間の公私共にご指導、本当にありがとうございました。

1979年ジャスコ入社
松井 博史 さま



体操界の発展に尽くす

■世界を舞台に活躍する選手を育成（1988～2009）

新体操の認知と活性化に貢献

英徳は日本スポーツ文化の向上のため、1988年、まだ日本では少なかった新体操教室としてジャスコ新体操クラブを設立。1993年には全日本新体操クラブ連盟設立、初代連盟会長に就任。運営収支の黒字化はもとより、広い人脈を活かし海外から指導者を招聘するなど、日本における新体操の認知向上とレベルアップに貢献した。



フェアリージャパンと

トップレベルの選手を輩出

全日本新体操クラブ連盟での手腕が高く評価され、英徳は2001年に日本体操協会会長に就任。民間企業経営の経験を活かした運営改革を実施し、精力的に日本体操界をバックアップした。男子・女子体操競技、新体操、トランポリンにおいて、日本代表選手らの競技力は高まり、世界選手権やオリンピックでメダリストが誕生するまでになった。



内村航平さんと

■体操を通じて世界を結ぶ（2010～2022）

国を越え体操界の発展を支援

国際体操連盟の評議員・名誉役員として、ハリケーンにより被害を受けたキューバ唯一の体操競技場に復興資金の援助を行うなど、国の枠を越え、体操界発展への支援を惜しまなかった。スポーツ振興についての功績が認められ、国際体操殿堂に日本人として選手以外で初めて殿堂入りした。



2013年 国際体操殿堂入り

東日本大震災の復興に光

2011年3月11日の東日本大震災により、同年10月開催予定だった世界体操競技選手権東京大会開催に対し高まる参加国からの不安。英徳は正しくデータで理解してもらうべく国際体操連盟加盟国に毎日働きかけ、日本に対する不安感を払拭し、無事に東京大会開催を実現。東日本大震災で傷ついた人々の心に、体操競技を通して希望の光を灯した。

2013年世界選手権 代表選手たちと



贈る言葉

王道を突き進む意義

二木さんはイオンのお仕事を退かれた後、(公財)日本体操協会会長にご就任いただき低迷していた「体操ニッポン」を復活に導いてくださいました。現場第一主義で「選手はどう思うのかな」と問うのが常でした。自ら現場に赴き、丁寧に現場の意見を聞き、選手の立場になって一緒に問題を解決されていました。常に謙虚で驕らず相手の立場を尊重し、最後には皆を成功の美酒へと導いてくれました。姑息なことを嫌い、王道を突き進む。それが正しい道であることを、今は「体操王国ニッポン」に変わったことで教えてくださいました。世界中の体操関係者は永遠に二木会長を敬愛し続けています。



国際オリンピック委員会 委員
国際体操連盟 会長
渡辺 守成 さま

一緒に戦ってくださった戦友でした

二木会長に日本体操協会の改革のため、2001年に新体操強化本部へ迎え入れていただきました。本当にすごく熱い方で、会議では先陣を切って自分のご意見をズバッと表明される。世界基準ということを常に考えておられて、もっと大胆なことをやろうと思わせてくださる方でした。例えば、代表選考を実績よりポテンシャルで選び、育成するかたちに改革し、私の在任中に世界選手権5大会連続メダル獲得という結果に結びつけました。仕事を離れると紳士な、とても凛とされた素敵なおじさまでした。一緒に闘い、後押しいただいて、本当にありがとうございました。



元・日本体操協会 常務理事兼
新体操強化本部長
山崎 浩子 さま

自分が選手のように結果を求める

初めて代表に入った2008年の北京オリンピックからお世話になりました。二木会長は体操ニッポンの復活を掲げられ、「何で団体で勝てないんだ」と自分が選手のように公の場で言うておられました。リオオリンピックでチームをまとめて金メダルに導けたのは会長の話があったからこそだと思っています。僕達が本当に競技に専念できる環境を作ってくださいましたし、北京以降はスポンサーもつき、体操の価値を会長が上げてくださったと感じています。頑張った選手には労ってくれる素晴らしい方で、二木会長の御尽力に対してとても感謝しています。



五輪金メダリスト
内村 航平 さま

御 礼

この度、元イオン社長二木英徳名誉相談役の生涯を振り返り小冊子を編むことになりました。ご縁のある皆様ともども思い出のよすがとなれば幸いです。

二木さんは大学卒業後の1960年、父二木一さんが創業されたフタギに入社されました。1970年岡田屋、フタギ、シロが合併しジャスコが誕生、わが国の流通新時代を告げる幕開けとなりました。1984年代表取締役社長に就任、以来12年間の長きにわたってグループのリーダーとして国際化戦略、多角化戦略を推進、企業規模は飛躍的に拡大しました。

二木さんの信念は、「お客さま第一、成果はすべて現場から生まれる」でありこれはまたイオンの基本理念の原点であります。二木さんが注力された「現場の英雄」育成キャンペーンは、現場第一線の力を掘り起こし、それをジャスコ全体の発展に結びつけようとしたものです。毎年現場から輩出される英雄を顕彰する制度は今もお脈々と受け継がれております。

私が新茨木店店長として駆け出しのころ、よくお店に顔を出していただきました。貴重なアドバイスはもとよりそのお人柄が気持ちがいぶん楽になったことを憶えております。イオンの経営を退かれた2001年日本体操協会会長に就任、会社経営の経験にもとづき2004年アテネ五輪の男子団体総合金メダルに代表される「体操ニッポン」の復活に尽力されました。10期20年会長を務められ、2013年には国際体操殿堂入りを果たされています。

なお、人もうらやむおしどり夫婦の愛妻榮海さんはジャスコという名前の生みの親でありました。一足先に泉下の客となられた榮海さんともどもどうか私たちをお見守りください。

改めまして、生前皆さまから賜りました数々のご厚情に対し、謹んで御礼申し上げます。

イオン株式会社 代表執行役会長

岡田 元也

会場で放映している映像などを特設サイトで視聴いただけます。

サイト開設期間 **2023年2月28日まで** https://www.aeon.info/futagi_hidenori/

